



初恋 はつこひ



文体

文体と詩の種類

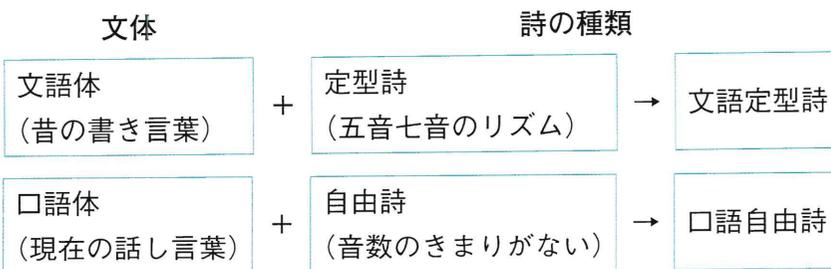
文体とは、性別や時代、文章の種類や目的などによって変化する文章の書かれ方のことです。

例えば、「今は昔、竹取の翁おきなといふ者ありけり。」のように昔の書き言葉で書かれたものを文語体と呼びます。これに対して、現在の話し言葉で書かれたものを口語体と呼びます。文語体を口語体に、口語体を文語体書きかえることはできませんが、その印象は大きく変わってしまいます。

また日本の詩は、短歌（和歌）や俳句（俳諧）などの伝統との関わりから生まれてきた歴史をもっていることから、短歌や俳句がもつ五音や七音などのリズムを生み出す音数の組み合わせを生かしているものがあります。こうした五音や七音のリズムを生かした詩を定型詩と呼びます。島崎藤村しまざきとうむらの『初恋』もそうした定型詩の一つで、文語体で書かれていることから文語定型詩と呼ばれています。これに対して、現代のほとんどの詩は口語体で書かれており、五音や七音による音数のきまりをもたないことから口語自由詩と呼ばれます。

目標

- 詩のもつ文体に注意して、その特徴がどこにあるかを理解する。
- 詩の構成や展開、表現の仕方などを味わって読む。



ほかに子ども向けの詩として、童謡や少年詩などがある。



初^{はつ} 恋^{こひ}

島崎^{しまざき}
藤村^{とうそん}

まだあげ初めし前髪^{りんご}の
林檎^{りんご}のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛^{はなぐし}の
花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて
林檎^{りんご}をわれにあたへしは
薄紅^{うすくれなゐ}の秋の実に
人こひ初めしはじめなり

5

花櫛

造花で美しく飾った櫛。

(179ページ)

かたみ

①死んだ人や離れてしまつた人の残した思い出の品。②過ぎ去つた思い出の種となるもの。ここでは②の意。

字ひ
ナヒ

2

この詩は文語体で書かれている。詩の中のどの表現

1 それぞれの連で、「われ」は「君」に対してどのよ
うな思いをもっているか、それぞれの連に描かれた
情景やその変化に注意して捉えよう。

3 その内容や文体に注意しながら暗唱し、気づいたこ
とを発表しよう。

千 みちしるべ

わがこころなきためいきの
その髪の毛にかかるとき
たのしき恋の盃さかずきを
君が情なさけに酌くみしかな

林檎島ばたけの樹この下に
おのづからなる細道は
誰たが踏みそめしかたみぞと
問たひたまふこそこひしけれ

10

5



島崎 藤村

〔一八七二—一九四三〕

長野県の馬籠まごめ（現在の岐

阜県中津川市馬籠なかつがわ）に

生まれた。小説家・詩人。

小説に『破戒』『春』

『家』『夜明け前』、詩集

に『若菜集』などがある。

《出典》『藤村全集 第一
巻』によった。